

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A・C組

教科担当者：（A組：塩畑）（C組：塩畑）

使用教科書：（東京法令出版 公共）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に調べられる技能を身に付けさせる。	現実世界の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。また、構想したことを発表する力を養う。	より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当			
				知	思	態	時数
1 学 期	A 「公共の扉をひらくために」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通じて他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結び付くことに気付く。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していくこととする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 「公共の扉をひらくために」 ①社会のなかの私たち ②青年期とは ③自己形成の課題 ④ライフ・キャリアの形成 ⑤社会の多様性 ⑥宗教と文化 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解したか。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点を用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	B 単元「公共的な空間における基本原則と日本国憲法」 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊重や平等な基本的原理などについて理解し、考察する態度を身に付ける。	・指導事項 「公共的な空間における基本的原則と日本国憲法」 ①人間の尊厳と平等 ②民主政治と国民主権 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理を理解したか。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の尊重や平等な基本的原理などについて理解し、考察する態度を身に付けることができたか。	○	○	○	11
C 単元「よりよい社会の形成に参画するために」 【知識及び技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。	・指導事項 「日本の政治機構と政治参加」 ①国会の運営と権限 ②内閣と行政の民主化 ③裁判所と人権保障 ④地方自治の仕組み ⑤政党と選挙 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割、地方自治制度や国民の政治参加のあり方について理解したか。 【思考・判断・表現】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めることができたか。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>C 単元「よりよい社会の形成に参画するために」</p> <p>【知識及び技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項 「日本の政治機構と政治参加」 ①国会の運営と権限 ②内閣と行政の民主化 ③裁判所と人権保障 ④地方自治の仕組み ⑤政党と選挙 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割、地方自治制度や国民の政治参加のあり方について理解したか。 【思考・判断・表現】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めることができたか。</p>	○	○	○	8
	<p>D 単元「経済の仕組み」</p> <p>【知識及び技能】 経済活動・経済主体・市場機構の機能と限界、企業の在り方や課題、国民所得の概念や景気変動の動き、財政や金融の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的に考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項 「経済の仕組み」 ①経済活動と私たちの生活 ②市場の仕組み ③市場の失敗 ④現代の企業 ⑤国民所得 ⑥景気変動と物価の動き ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 経済活動・経済主体、市場機構の機能と限界、企業の在り方や課題、国民所得の概念や景気変動の動き、財政や金融の事柄や課題を理解したか。 【思考・判断・表現】 経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めることができたか。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	<p>D 単元「経済の仕組み」</p> <p>【知識及び技能】 経済活動・経済主体・市場機構の機能と限界、企業の在り方や課題、国民所得の概念や景気変動の動き、財政や金融の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的に考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項 「経済の仕組み」 ①経済活動と私たちの生活 ②市場の仕組み ③市場の失敗 ④現代の企業 ⑤国民所得 ⑥景気変動と物価の動き ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 経済活動・経済主体、市場機構の機能と限界、企業の在り方や課題、国民所得の概念や景気変動の動き、財政や金融の事柄や課題を理解したか。 【思考・判断・表現】 経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めることができたか。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>E 単元「変化する日本経済」</p> <p>【知識及び技能】 戦後日本経済の推移などに関わる現代社会の事柄や課題、中小企業や公害問題などに関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本経済に関わり現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本経済に関わる現実社会の諸課題について、多面的・多角的に考察を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項 「変化する日本経済」 ①戦後復興から高度経済成長へ ②安定成長からバブル経済へ ③日本の中小企業 ④日本の農業問題 ⑤公害の防止と環境問題 ⑥エネルギーと循環型社会 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 戦後日本経済の推移などに関わる現実社会の事柄や課題、中小企業や公害問題などに関わる現実社会の事柄や課題を理解したか。 【思考・判断・表現】 日本経済に関わり現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本経済に関わる現実社会の諸課題について、多面的・多角的な考察を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めているか。</p>	○	○	○	11
	<p>F 単元「豊かな生活の実現」</p> <p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、労働問題、社会保障の事柄や課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費生活・労働問題・社会保障にかかわる現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本経済に関わる現実社会の諸課題について、多面的・多角的な考察を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。</p>	<p>・指導事項 「豊かな生活の実現」 ①私たちの生活と契約 ②消費者主権 ③労働者の権利 ④労働者問題 ⑤社会保障制度 ⑥景気変動と物価の動き ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料</p>	<p>【知識・技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、労働問題、社会保障の事柄や課題について理解したか。 【思考・判断・表現】 消費生活・労働問題・社会保障にかかわる現実社会の諸課題について、幸福・自由・公正などの視点を用いて事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費生活・労働問題、社会保障に関わる現実社会の諸課題についての多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深めているか。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
合計							78